



2018
Hyogo

第57回 (2018) 全国保育問題研究集会

兵庫集会実行委員会

ニュース No.3

2018年2月発行

あつちの 之之やん

記念講演

内田樹さんに決定!

兵庫保問研の中でみなさんをお迎えするのに素敵な記念講演にしたいと思い、いろいろな提案や論議をしてきました。そして、神戸市在住の哲学研究者で神戸女学院大学名誉教授、京都精華大学人文学部客員教授であられる内田樹(うちだたつる)さんをお迎えして、「転換期に生きる力を育てる」と題して講演して頂くことになりました。

今の世の中でみんなが命を大切にし幸せに生きるヒントを内田さんと一緒に考えていきましょう。



集会案内完成しました!

兵庫集会まで5か月をきりました。実行委員会も回を重ねて、準備も着々と進んでいます。さて、集会案内が完成しました。2月中にはみなさんのお手元に届くように発送準備をしております。1日目のオープニングでは和太鼓演奏・先に紹介した内田樹さんの記念講演、歓迎行事として職員有志による阪神淡路大震災をテーマにした劇「いきる」など、熱のこもった内容になっています。また、13の特別講座も充実、分科会も現在93本の提案を予定しています。みなさまをお迎えする為に準備を整えています。

2月1日9時より、パソコン・スマートフォンで全国保育問題研究協議会ホームページ(zenhomon.jp)にて、集会案内のダウンロード及び第57回兵庫集会の申し込みができますので、是非アクセスしてください。



学び合おう、いのちあるみんなが、しあわせになるために
～第57回全国保育問題研究集会 兵庫集会 プレ企画～

Hyogo Hoiku Fes!!

2018 **2.11** Sun
10:00~16:00 (受付 9:30)

※近くに昼食をできる場所は、ありません。昼食は、ご持参ください。

参加費
無料

場所 兵庫大学・兵庫大学短期大学部
〒675-0195 兵庫県加古川市平岡町新在家2301

アクセス・・・JR東加古川駅から北へ徒歩約12分
駐車場・・・会場には、駐車場はありません。
できるだけ公共交通機関でお越しください。

9:30	10:00	11:30	12:30	13:00	14:30	16:00
受付	午前部 分科会	休憩	午後部 歓迎行事	全体講演	基調講演	終了

分科会

①レゴブロック

萩原慶二さん (大阪造形大学 教授)
コミュニケーションツールとしてのブロック教材
幼児教育で多く利用されているブロック教材ですが、学びの基礎としてのブロック教材の意味を問い直してみます。
子どもの試行錯誤から回帰的試行を経て論理的試行に向かう一連のプロセスを演劇の中で考察します。

②ベビーマッサージ

山口千穂子さん (保育園 園長)
～赤ちゃんのからだづくり～
イキイキ赤ちゃんを育てる「ベビーマッサージ」
赤ちゃん体操をマスターしましょう!
アクティビティを育むベビーマッサージの手法をはじめ、乳児期の発達を促す遊びや生活、身体の発達に気になる赤ちゃんに対する働きかけなどについても映像を見ながら探っていきましょう!

③リズム運動

磯保梨子さん (保育園 園長)
日々、保育の現場でリズム運動の実践を取り組んでおられると思います。子どもの運動発達を育てるために保障したい運動がたくさんあります。保育者の皆さんも、みんなで子ども達のよう楽しく動いて実践しましょう!

④「美味しく食べる」

小西律子さん (保育園 園長・元園長)
「食」は「人」を「良くする」と書きます。なにを、だれと、どんなふうにして食べるのか。
その食事が育むものは、1人1人の人前そのものです。
保育園での給食も、その線上にあることを確かめながら具体的な取り組みの工夫について学びましょう。

⑤「劇づくりの面白さ」

(提議) 渡辺野津明さん (保育園 主任)
(助言) 徳永真理さん (兵庫大学非常勤講師)
年長の担任の先生も、これら担任をする先生も、どのように劇を作っていくのか興味ありませんか?
上手に劇づくりや個人だことを出し合って、劇づくりの実態を交流しましょう!
Let's think about GEKIZUKURI!



全体講演

「学童期を見通して、私たちが大切にしたい子どもの発達と権利」
—『新要領』『新指針』を踏まえて—

服部敬子さん (京都府立大学 教授)

子どもたちの笑顔、成長の実感——保育者でよかったなあと思える瞬間だと思います。「いつまでか〇〇、〇〇、〇〇ができるようにならないと」と追い込む発達観ではなく、子どもたちの中からやってみようという気持ち、工夫を凝らす、自分たちで試行錯誤を繰り返しながら「発達」観、「なんでそんなことをするのか?」「大人が動く意味を踏みとどめるような「発達」観が必要だ。」「学童期の心も、働きが追加、補っている日本の現状は、遊びや余暇を楽しむ権利、思い (view) に耳を傾けてもらう権利が奪われている子どもたちの危機感、表しているのではないだろうか。」「乳幼児期というかけがえのない「今」を大切に育てる保育を子どもたちと一緒につくりたいと思うのです。

基調講演

「しあわせな保育園づくり
しあわせな社会づくり」

～もう保育をブラックと呼ぶな!～
黒澤祐介さん (大阪造形大学 准教授)

「保育の仕事、やめてしまいたいな...」そんな思いを抱えている保育者さんは少なくはないのでしょうか? 賃金や労働時間の問題、多様な子どもたちや保護者との関わり、そして、保育現場の人間関係。さらに、家庭に帰れば家業に育児、保育園で働くのは本当に大変です。でも、保育者のみなさんは、その大変さをこえて、「うれしさ」や「しあわせ」が保育現場にはあふれていることも知っているはず。保育士不足の現状、辞めずに働き続ける理由、保育における「大変さ」と「うれしさ」、日本社会の現状や保育者の専門性という点から見て、「みんながしあわせになる」保育園や社会をどうつくるのかを考えてみたいと思います。



歓迎行事

劇「いきる」
第57回全国保問
研究集会 劇回員

22年前に起こった阪神淡路大震災をテーマに、兵庫県下の保育所職員連が、練習中の劇を披露します。私たちが普段意識することが少ない、「生と死」について、真正面からぶつかり、「いきる」とは何かを問いかけています。どのような形の披露になるかわかりませんが、ぜひ楽しみにしていてください!



主催 ; Hyogo Hoiku Fes!!実行委員会

後援 ; 兵庫大学・兵庫大学短期大学部、加古川市 (申請中)、神戸新聞厚生事業団 (申請中)

問合せ先 ; 兵庫県宝塚市安倉西3丁目1-7 あひる保育園内 担当 前田 0797-86-3309

保育講座

2017年11月22日に神戸親和女子大学 発達教育部 ジュニアスポーツ教育学科長の中瀬古哲さんによる「子どもの発達と運動会」をテーマに学習会が行われました。中瀬古さんが追跡研究されているとある園の運動会の映像を見ながら、運動会の在り方についていろいろ考える機会になりました。運動会は子どもの祭典、おまつりだから楽しくなくては！でも実際はいろいろ楽しい事ばかりではないこともある。子どもの本気を引き出すには？やらせについてなど、いろいろな運動会の取り組みの中でどの園でもあるであろう葛藤や悩みのポイントについてお話をきいたり、意見交流をしました。今回は技術的な事ではなく、子どもと作り上げる祭典としての何をもって楽しいか、本気から生まれる子どもの身体の動きなど、少し側面から見たお話しでした。保育士が子ども像や願い、思いを持ちながらの取り組みが大切であるということが伝わってきました。また、便利な生活になり身体の育ちが弱い子に対する援助は難しいのですが、楽しみながらの取り組みが必要だと思うなどの感想がありました。聞いた人の心にいろんな思考課題が広がるととてもいい会でした。



活動報告

【保育所保育指針について考える 第3回目
～具体的な事例から10の姿について考える】

11月25日、あすてっぷKOBЕにて行われました。保育者だけでなく、保育園運営者や研究者も一緒に疑問や意見を交換し合いました。...指針では個人対個人、自己責任、評価につながるように読み取れるけれど、実際の現場では一人の人格として接し、集団の中で育つこと、それぞれの発達や育ってきた環境を考慮しながら毎日が楽しいと感じて過ごしたりしていることを確認し合いました。

また、小学校との連携は一方的なことが多くなってしまっているけれども、乳児期・幼児期からの発達も踏まえながらお互いに意見交換をしての連携が必要であることも話し合われました。



兵庫集会

Tシャツ販売のお知らせ

「兵庫に来る人この指と～まれ!」をイメージしたTシャツを販売します。



- 価格：各サイズ1,000円
- サイズ：100,110,120,130,140,150,160,S,M,L

○カラー：

ライトグリーン/ピーチ/イエロー
シーブルー/スモークブラック

バック

プレ集会
兵庫集会でも
販売します。

世界文化遺産 姫路城



天に舞う白鷺のように美しい姫路城。築城以来400年を超える長きにわたり、戦火を免れ残った五層七階の姿は、未来への遺産として大切に受け継がれています。国内だけでなく、世界中から観光に訪れています。

アクセス：姫路駅北側に出ると、真ん前にお城が。お店を見ながらお城を目指すのも楽しいですよ。

国宝ミステリー

「一枚、二枚...」
城内には、怪談「播州皿屋敷」の舞台になった「お菊井戸」もあるんです。



国宝好きさん、 この指と～まれ!

at 姫路・加古川



播磨の古刹 刀田山 鶴林寺

587年、聖徳太子が秦河勝に命じ仏教を広めるため建立した精舎が鶴林寺の始まりと伝えられています。

国宝の[本堂]「太子堂」や、泥棒が盗み出そうとしたら「アイタタ」という観音様の声に驚き改心したと伝えられている国重要文化財「金剛聖観音立像」等多くの文化財を有し、「播磨の法隆寺」とも呼ばれています。

6月頃境内には、釈迦に縁のある菩提樹や沙羅が咲き匂い、心洗われること間違いなし。

重要文化財の宝庫 書写山 圓教寺

平安時代に性空上人によってひらかれ「西の比叡山」とも呼ばれ、多くの僧侶の修行の場となったお寺。境内には、今でも弁慶の足跡が残っています。山頂まではロープウェイで。

